

11月第一例会報告

11月6日(日) ワイズデー(国際協力街頭募金)

交流委員 野田 泰伸

11月6日(日)ワイズデーの内容は、クラブの自主性に任せるという京都部の方針で、ウエストクラブでは、国際協力街頭募金に参加しました。久々に、河原町三条での募金でした。

私たち家族は、スペシャルオリンピックスのボウリングプログラムに参加した後で直接、募金場所へ向かいました。平安徳義会から、先生2名、子供5名も参加いただきました。また、YMCAのリーダーと子供たちも参加いただき、大勢での募金活動でした。時折、小雨がばらつく天候のため、アーケードの下で、1列に並んで募金を呼びかけました。つい、人の流れの多いほうへ集まりがちで、熱意ある呼びかけに、列は自然と前へ寄り、商店の方から苦情を聞いてしまいました。その後少し場所を移動して、人の流れから遠くなりましたが、わざわざ、募金箱へ近寄ってくれる人も多数ありました。近頃、募金まがいの詐欺行為もあり、道行く人々からは、警戒感を感じました。気ぜわしいのか、人々の歩くスピードが早く、特に募金箱の前を通り過ぎるときは、早く感じました。温暖化のせい、あまり寒さを感じませんでした。大声を張り上げているのと、雨のせいか意外と疲れしました。

午後3時前には終了しました。風邪気味で参加されていた大西ワイズは、終わると同時にしゃがみこんでしまい、動けない状態でした。お疲れ様でした。

終了後、平安徳義会の先生や子供たちと、軽食を食べながら、交流しました。子供たちは、活発で元気があり、楽しく会話できました。お疲れ様でした。

参加者：中原、中原メネット、胡内、岩本、河合、牧野、大西、野田、野田メネット、野田コメット
平安徳義会・YMCA 子ども達と共に



11月第二例会報告

11月24日(木) リーガロイヤルホテル

地域奉仕委員 中村 豊

24日(木)定刻に始まった今回は、吉田ワイズの司会。年の功か(失礼)初めてであろうに落ち着いた様子に聞いている我々も一安心。会長の挨拶もこれまでの開会、閉会合わせて10回程もしていれば、これ又不安なく聞いていられ、会長役もいよいよ板についてきたものと拝見。ホテルの都合で予定外の広い部屋となり、ウソかホントか開会点鐘の木槌も持てない程お疲れの会長の「もう2テーブル必要なくらいのメンバー数になりたい」旨と、ゲストスピーカーの住職にカツを入れて貰いたい旨の挨拶では、会長が強いリーダーシップを発揮している所が立派。河合ワイズの食前の一言では、日頃の運動不足と体(この場合は首から下?)を使った後の食事は大変美味しい旨の一言も言い得て妙でした。お寺さんをゲストスピーカーに迎えての食事が洋食=肉かと一瞬気になりましたが、メインは魚料理で一安心。さて、今回のゲストスピーカー-大本山東福寺棟頭・願成寺明石湖州住職のお話の始まり。氏にとってここは言わば非公開の場なのでしょうが、ごくごく略して「でもしか出家」として僧侶の道に入られたとか。でも本当は大きな大きな疑問があってその道に入られたのは想像に難しくありません。なかば儀礼化しているとはいえ、入門の際の厳しい慣習、慣例の紹介から話は始まり、禅の世界の豪放磊落(らいらく)ぶりと、一時一時を大切にする精神、来るものは拒まず、去るものは追わず、一期一会の生活ぶりなどを実体験をもとに話され、聞く者は抵抗なく、自然と話に誘い込まれているのです。体験に座禅での背中たたきを多くのメンバーがしてもらい、痛いやら、体がシャンとしたやら、本当の現場では板が割れる位に厳しいものである事も聞き、禅の世界をホンの少し垣間見たものでした。

出席者 刈23名 ネット4名 ゲスト1名 合計28名
愛の「カツ！」



第二例会 明石住職スピーチ

平安徳義会バザー報告
 11月3日(祝) 平安徳義会
 地域奉仕委員長 大西 光子

秋晴れの下朝早くから、沢山のワイズ、メネット、コメットが駆けつけてくださって、女性中心にバザーの品物に値札付けや、品物展示、男性中心にお好み焼きの準備、慣れぬ私はあちこちウロウロと品物の値段で結構難しい、寄贈して下さった皆様には大変申し訳ないのですが、残るよりは少しでも多く買っていただけるように、心ならずも安い値札つけさせていただきました。

おかげさまで、どの部署も大盛況、でもバザー常連のような方もおられ販売するほうも対応は大変でしたね。おまけに終わり近くに小雨まで、品物をあわてて運ぶやら、お手伝い頂いた皆さんお疲れさまでした。(Mさんいたのかな)

講演中も働いてくださった方々ありがとうございました、皆様方の協力で、無事バザーを終える事ができました。

今年の福祉講演は、江口法子先生「子育ての極意～臨床心理士の立場から」をお聞きしました。昨今の厳しい社会情勢の中でこそ、昔から言われている「子供を手塩にかけて育てる」大切さ、子供の目線で一緒に考え、親も子も「愛情をそそぐ」大切さこそ「極意」なのではと改めて教えられました。

私は、いわゆる子育てはもう済んだかもしれませんが、六十近くになっても今だに母親からは、叱られていますので「もういいかげんお説教やめてよ」とついつい言ってしまう。親なればこそ心配してお説教なのですが、なかなか親には感謝の一言が言えません。いつまでも反抗期の子供で、不良老年にさしかかった私であります。ちなみに私の母は八十八で、この頃の口癖は「孫が嫁に行くまで、死んでも死にきれん」と達者な口調に電話で脅されています。

娘にこの話をすると「私はおばあちゃん孝行しているんや」ですって、「もう、いい加減にしてや...。」皆さんは親子でどうですか。

中原、立山、寺井、野田、中村、胡内、山下、桂、河合、星野、大西ワイズ 森田、中原、立山、野田メネット、中原コメット(2)、野田コメット



徳義会バザーに参加して
 中原 悠貴コメット

毎年徳義会フェスティバルの午前中に講演がありますが今回は佛教大学教育学部臨床心理学科助教授の江口法子先生の講演でした。

私は、バザーや屋台の準備のため講演を聴くことはできませんでしたが、父から江口さんの本を読ませていただきました。ここ数年で親が子供を虐待している事件が相次ぎそんな中子供が親を傷つける事件が起きました。この本を読み自分もよく家で反抗していた頃を思い出しました。あの頃は、両親が思っている「自分」を変えてみたかったからという思い

からでした。しかし、そんな反抗期の中いろんな人との出会いがあったからこそ今の自分があると思っています。講演が終わり11時45分からお好み焼きを焼き始めました。開始と同時に店の前に大勢の列ができバザーも人でいっぱいでした。そんな忙しい中後ろでビールを飲んでる人もいたり・・・(コラッ!)徳義会の子供たちは準備(and片付け)の手際がよくすべてがスムーズに進みました。そしてフェスティバルの終わりを待つかのようにパラパラ雨が降りだしました。参加させていただきありがとうございました。また次の行事も参加したいです。

YMCA リトセンオータムフェスタ報告
 11月13日(日)

秋真っ盛りのリトセンで今年もオータムフェスタが開会され大いに賑わった。

多くのワイズメン、YMCAリーダー、子供達で賑わい、食べ物コーナーでは早々に閉店に追い込まれる盛況でした。ウエストクラブは昔遊びを企画。メンコ、ビー玉、コマ廻し、宝探しと子供も大人も大いに楽しんでもらった。ステージではバンド演奏に耳を傾けのんびりとした秋の一日を満喫した。

リトセンを多くの人に知ってもらい、利用してもらえようこのような地道な活動が大切な気がする。

参加メンバーの笑顔が素敵です!



12月のお知らせ

みかんファンドのお知らせ

ファンド委員会

今年も美味しいみかんをどうですか!
 恒例のみかんファンドを下記の通りおこないます。
 お歳暮に、お正月用には欠かせません、甘くて美味しい、ファンド委員長特選のみかんをぜひこの機会に!

日時 12月10日(土)PM2:00~

場所 滋賀青果(中央市場)

“大特価にて販売予定!”

お早めの申し込みをお願いします!

楽楽会のお知らせ

EMC委員会

年末の忙しさの中、ちょっと一息、テーブルマジックSHOWで気分転換、遊んでみませんか?
 気楽な雰囲気メンバーとゲスト、メネットやコメットと一緒に楽しみましょう!

日時 12月21日(土)PM7:50集合

場所 マジックテーブル(TEL533-6635)

会費 6000円!

(人数限定16名)詳細はEMC委員会まで

